

群馬県沼田市 ~ 基盤整備による耕作放棄地の解消 ~

| | |
|--------|-----------------------------|
| 地域指定 | 一部特定農山村、一部過疎、一部振興山村 |
| 農業地域類型 | 都市的地域 |
| 経営耕地面積 | 1,177ha |
| 耕作放棄面積 | 農家216ha 土地持ち非農家119ha 計335ha |

数値は2005年農林業センサス
概数値

【地域の概要】

本市は、米、こんにゃく、えだ豆を中心とした営農と、施設園芸、りんご・ぶどうなどの観光農園が主体となっている。

本市沼須地区は、水田と養蚕の複合経営を行ってきたが、繭の価格下落により畑作物の主流はコンニャクに転換している。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

生産基盤条件の悪い傾斜地は桑園のまま放棄され、加えて、隣接山林からの竹・笹類の進入により耕作不能となったため、畠地帯総合整備事業を実施した。

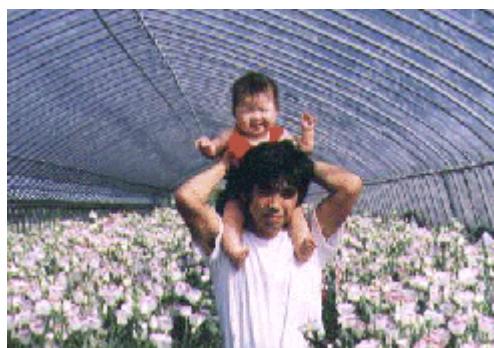
耕作放棄地解消に向けた取組（市）

耕作放棄地解消面積：9ヘクタール 取組時期：平成13年度～

耕作放棄された桑園等の抜根を行い、緩傾斜畠への整地と道水路を一体的に整備するとともに、点在している農地を集団化した。

零細農家からの農地流動化の促進により、認定農業者の耕作面積を拡大した。

整備された農地を利用したトマト、キュウリ、イチゴ、花卉類の施設栽培が大幅に増え、施設栽培を中心とした高収益作物の営農に転換している。



施設栽培農家